

2025年度
NO.14
2月号



小学部だより 作新学院小学部

2026年1月30日
<https://www.sakushin.ac.jp/elementaryschool/>

慣用句に「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」というものがあります。これは、正月から3月にかけては行事が多く、月日が非常に早く過ぎ去ることを表現したものです。と書きつつ、1月が終わる前に午年にちなんで『左馬』の話題をひとつ。左馬とは、「馬」という漢字を鏡文字のように左右反転させた文字で、古くから縁起物として親しまれています。特に、福を招いてくれたり、商売繁盛をもたらすと言われています。何でも、県内のある神社に左馬にまつわる話題があるや否や…。



神頼み・幸運を引き寄せる運占いは、その行為に至るまでの過程においてどれくらい準備してきたのかによるものと思います。学問や芸術・スポーツを極めた人の栄光の部分に焦点が当たるのはよく分かります。しかし、そこに至るまでの歩みにこそ学ぶべきことがあるのではないかでしょうか。「ここまで準備してきた」と確信したときに、神頼みをして内面を整えるのだと思う今日この頃です。

2月の行事予定

2月	個人面談(1~5年)開始~5(木) 租税教室・財務教育(6年)	20	金	「スホの白い馬」朗読会(2年)
9月	スキー教室(5・6年)~10(火)	24	火	必修クラブ(6年茶道招待)
12木	個人写真撮影(1~5年) 役員会	25	水	学年末テスト~27(金)
13金	スケート教室(3・4年)	26	木	気仙沼小とZoom交流会
17火	学級懇談会(6年) 必修クラブ見学(6年保護者)	27	金	購買用品引渡し準備
18水	B日課	3/2	月	新入生購買用品引渡し 6年オリエンテーション

連絡事項

- 2/2(月)から個人面談が始まります。すでに各クラスより詳細を記載したプリントが配布されています。よろしくお願ひいたします。
- 2/2(月)に租税教室・財務教育(6年)があります。専門家担当者が来校され、将来に活かせる知識が習得できる機会です。アカデミア・ラボのクエストルームで開催します。
- 2/9(月)~10(火)に、スキー教室があります。スキー教室説明会の際に配布したプリントをよくお読みになってください。日頃から健康には留意されているところですが、安心安全なスキー教室となりますよう、該当学年の子どもたちはもちろんのこと、保護者

様におかれましてもお子様の体調管理をよろしくお願ひいたします。また、確認いたしますが「頭髪のシャンプー」につきましては、禁止ではなく体調良好・ヘアードライヤーの使用に十分な注意・日程を守る範囲で認めていることをご連絡します。

- 2/12(木)に、新学年に向けての個人写真撮影(1年生~5年生)があります。特に撮影日には服装・頭髪を整えて登校させてください。
- 2/13(金)に、スケート教室(3・4年生)があります。詳細は配布済みの記載通りです。昨年同様専門のインストラクターが各グループで指導してください。
- 2/18(水)はB日課です。下校時刻が変わります。ご注意ください。
- 6年生は、卒業日程を考慮し学年末テストを2/16(月)・2/19(木)・2/20(金)に実施します。
- 2/26(木)は、6年生と気仙沼小学校6年生とのZoom交流会があります。互いの地域や学校の魅力を(クイズ形式で)伝えあう楽しい時間を過ごします。

個人面談・学級懇談会について

○1年生~5年生の個人面談について

日時 クラス配布の記載通り 各教室にて
午前中授業・給食、該当学年の下校は1:30pm.
駐車場は、西駐車場です。



○6年生の学年懇談会について

日時 2/17(火)2:45pm. ~ 給食棟にて
6年生の下校は4:00pm. (親子ご一緒に帰りください)
駐車場は、西駐車場です。



卒業まで「6週間」

明日の「一日入学」では6年生に係りお手伝いをお願いしました。担当した6年生は、きっと「私も(当時の6年生の)お兄さんやお姉さんにお世話になった」という記憶がよみがえっていることだと思います。思うに、小学部の伝統になっているのがこの「係りお手伝い」です。

小学生の発達段階を考えると、保護者(親)から愛情豊かに育てられ、その後少しづつ生活の場を外に向け始めます。公園デビューという言葉がありますが、まさに安心安全であった親御さんの視野から、外界へ歩みだす段階を表す言葉でしょう。幼稚園や保育園で集団生活を学び始めます。このとき人間関係は親からお友達へと広がっていきます。小学生になると、“クラスメート”を強く意識し始めます。そして…、学年の違う「お兄さん」や「お姉さん」という年上の“お友達”を人間関係の枠に入れ始めます。このとき、「お兄さん」や「お姉さん」と呼ばれる5・6年生はロールモデルとして学びの対象になります。「私もお世話になったあの時のように、下の学年の子をお世話したい」などと自覚し始めるのです。自分事だけではなく、人の役に立ちたいという思いは、後の自己実現のステージの土台となることでしょう。

お手伝いに関わる・関わらないに限らず、新たなステージに立とうとしている6年生は、卒業までの間、下級生にどんなお手本を示すのか、そして自分にどんな種蒔きをするのか楽しみながら見守りたいと思います。